



稲田小だより

令和5年度学校だよりNo.9 令和5年12月号

回覧



かなざわ総本舗さんを訪問しお話を聞く3年生

3年生は総合的な学習の一環として、地域にある様々な施設やお店に出かけ、人やものとの出会いを楽しみ、稲田のよさを学んでいます。

そもそもPTA組織は何のためにある？ ～改革はその目的に立ち返ることから～

校長 茂木 徹

時代の流れや、社会を取り巻く環境の変化に伴い、学校やPTAに対する見方や考え方が変わってきたと感じます。例えば、「PTAは任意団体なのに、入学と同時に加入することが前提になっているのでは…」「役員をやらなければという取り決めがある」など、保護者の皆さんの中に義務感のような思いがあることを、以前読んだアンケートから感じました。環境や働き方が多様になる中、役割を担わなければならない状況の困難さは共感できます。今、役割を担うこと自体が、組織の目的になっているとも言えるような気がします。そのような心持ちで活動を行うのであれば、義務感を感じたり受け身になったりするのも頷けます。

では、そもそもPTAは何のためにあるのでしょうか？もう一度原点に立ち返ってみました。PTA設立の趣旨は1967年に出された国の社会教育審議会答申に遡ります。その趣旨は全国PTA連絡協議会のHPに以下のように記載されています。

PTA（Parent Teacher Association 父母と先生の会）とは、幼児・児童・生徒の健全な成長を図ることを目的としたどの機関にも属さない独立した組織です。

つまり、「保護者や学校の職員が、自主的な意思で、子どもたちの笑顔や子どもたちのよりよい成長のために、力を合わせて活動する。」ということです。この目的に基づき、意義ある活動が進められる改革を目指すことが、今改めて求められていると考えます。

夏から、自ら手を挙げ組織改革の検討委員を引き受け、汗を流してくださった方々がいらっしゃいます。まさに、主体的な意思のアクションであり、とてもありがたいことだと思います。そんな前向きで創造的なPTAに改善・進化できるように、私も取り組みたいと思います。

PTA 組織改革の方向性

方向性を見出すために、これまでの取組のよさや効果・課題を出し合いました。その上で、新しい組織を創る基本理念を練りながら検討を行ってきました。



稲田っ子遠足の際の安全ボランティア

【改革の視点】



- 1 これまでの取組のよさを洗い出す
- 2 活動を続けてきた上での課題を明確にする
- 3 組織改編のコンセプト・キーワードを示す。

【1 これまでの取組のよさ】

- ◎親子で行う様々な**体験活動は楽しく有意義**
- ◎健康や安全、メディアなど**親子で学ぶことは有効**
- ◎**PTA 独自企画**（逃走中、謎解き宝さがし）や創立150周年「絆おむすびプロジェクト」は、**子どもの楽しい思い出に**
- ◎スポフェスや学習発表会などに**親が参画**することが、**子どもの思い出作り**を支える
- ◎PTA 広報を発行することで、**子どもの情報を伝えられる**
- ◎懇親の機会が、**親同士・教師とのコミュニケーションを深める**機会になる



1年生の親子 PTA 活動

【2 課題】

- ◆感染症等の影響もあり会員の**結びつきや協働性が希薄**に
- ◆専門部（約61人）総務部（約10人）を**選出する困難さ**
- ◆役割を引き受けなければならない**義務的な色合いが濃厚**に
- ◆働き方が多様化し、**一律な参加要請や役割依頼の困難さ**
- ◆**教職員の働き方改革**もあり、関わり方の見直しの必要性

【3 新組織のコンセプト・キーワード】

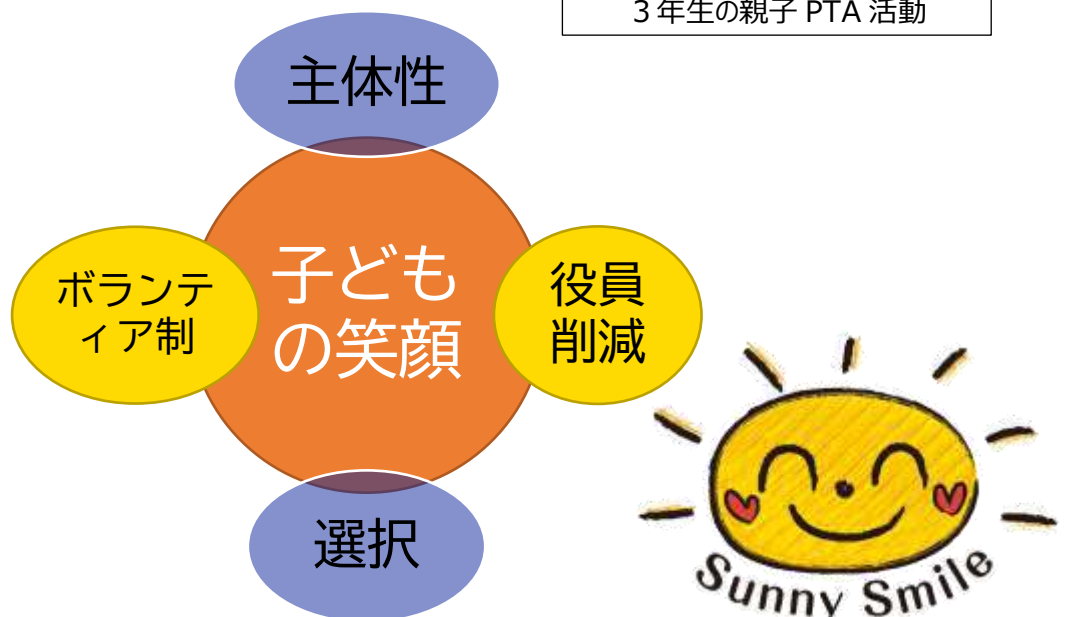
- 会員の主体性・自主性を生かす
- 保護者の意思を尊重した加入制に
- 専門部をなくしたボランティア制を基盤とする組織
- 公募制による最小限の役員数（不足は学年から）
- 役員以外は、ボランティアとして自己選択して参画
- 活動内容に合わせた予算と会費の減額



3年生の親子 PTA 活動



全校を対象にした「謎解き宝探し」の企画・運営



【12/4 PTA 臨時総務委員会で提案された組織の概略】



- 1 ボランティア制を中核とした加入制の組織と、全会員が所属する従来組織の組み合わせ
- 2 PTA 会長・副会長選考をやめ、ボランティア制組織内で代表者を互選
- 3 ボランティア制組織の委員は公募制 従来の役員数(約 70 人)を大幅削減→23 人へ
- 4 ボランティア本部の委員以外の会員による、年間 1 ボランティア以上の参画
- 5 必要な活動に必要な予算を配分し、会費減額の実現

保護者と職員で「創る・楽しむ」学校応援団 …稲田・みんなで・エンジョイ・スクール(仮)

PTA 総会

役員会

本部 (11人)

～ボランティアコントロールセンター～

PTA 加入者から公募または選出

◎委員長

○副委員長①(イベント担当) ○副委員長②(広報担当)

【イベント担当】副委員長①、企画委員2名

【広報担当】副委員長②、企画委員2名

【学校支援担当】支援委員2名 会計担当2名

学年部

当該学年全保護者の中から選出

学年委員

学年2×6=12名

学年活動のボランティア

全保護者が対象

健全育成部

地区子ども会の中から選出

・登校班の編制

・地区子ども会への出席

全保護者が対象

加入登録した PTA 会員が対象

<学校外組織>

「稲田むすぶプロジェクト」など

学校内外の方で組織する団体と連携



親子で楽しんだ「謎解き宝探し」イベント

<学校内組織>

「親路の会」と環境整備等での連携



日常の学習活動への支援

会計監査

5・6年学年委員長が兼任

【本部 (ボランティア制) で企画できそうなことは？】

まずは、これまでの活動からできそうなことを考えてみると…

- 4 年くらい前に校舎内でやった「逃走中」のような子どもが楽しめる企画
- 今年の夏に行った「謎解き宝探し」など親子で楽しめるイベント
- 親子で学ぶ参加型の防災イベント
- 150 周年時にスタートした「結ぶプロジェクト」との連携 (お祭りの企画)
- 子どもの姿や耳よりな情報を発信する広報紙
- 学校行事 (例えば、「稲田っ子遠足」) に一緒に参加して汗を流すこと
- スポフェスや学習発表会などのボランティアとして子どもたちの間近で支援
- 子どもたちが学習しやすいような環境を整備するグッズ制作や奉仕活動
- 日常の教育活動における学習支援ボランティア (ミシン、水泳、調理など)



学年アラカルト ～学校生活のひとコマから～

季節は本格的な冬へ。そして2学期も終わります。各学年では様々な活動を進めてきました。その様子をいくつかピックアップしました。



下水道処理センターで関川の水について学ぶ4年生



人権学習でLGBTについて学ぶ6年生



理科で流れる水の動きについて学ぶ5年生



生活科で秋冬野菜を収穫する2年生



歯肉炎予防教室で歯磨きする3年生



秋探しで集めたどんぐりで遊ぶ1年生

～令和6年3学期の主な予定～

間もなく令和6年を迎えます。今年度も残すところ3か月。特に3学期は学年のまとめの時期。より充実した活動となるように努めてまいります。(PTA総会の結果によりPTA関係の日程に変更あり)

- 1月 9日(火) 3学期始業式
- 12日(金) 臨時PTA総会 15:00
- 23日(火) 稲田っ子フェスティバル(児童会行事)
- 26日(金) 2年生雪遊び
- 2月 2日(金) 3・4年スキー教室(妙高)
- 6日(火) 新1年生移行学級
- 9日(金) 1年生雪遊び
- 14日(水) 第3回学校運営協議会
- 15日(木) 5・6年スキー教室(妙高)
- 22日(木) 学習参観・学年懇談会
- 3月 4日(月) 6年生ありがとう週間(6日に集会)
- 12日(火) 町内別集会・集団下校
- 21日(木) 3学期終業式
- 22日(金) 第77回卒業証書授与式



1年生が育てたアサガオのつるで作ったリース

今のところ、離任式は3月25日を予定しています。

